サポート情報記事

クラシックの SharePoint ディスカッション掲示板を Discussions にインポートする方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

始める前に 4

手順 **1.** ウィザードを開く 5

手順 **2.** サイトとクラシック掲示板を選ぶ 5

手順 **3.** ドライ ランを確認する 6

手順 **4.** オプションを選ぶ 7

手順 **5.** インポートを実行する 8

手順 **6.** レポートを読む 8

インポート後 9

用語 11

概要

Discussions には、クラシックの **SharePoint** リスト ディスカッション掲示板 (Discussion Board、リスト テンプレート 108 または Discussion Board 基本タイプ。コミュニティ サイトのディスカッション リストも含まれます) 用のインポーターが付属しています。インポーターは Web パーツの中で、お使いのブラウザー上で、あなたのアクセス許可で動作します。現在のサイトまたは同じテナント内の別のサイトにあるクラシック掲示板を選び、ドライ ランの概要を確認すると、インポーターはトピック、返信、ベスト アンサー、いいね数、添付ファイルをページの Discussions 掲示板にコピーします。返信の階層は再構築され、元の作成者と日付はアカウントに設定が許可されている範囲で復元され、インポートされたすべてのアイテムにはレガシー ID が付くため、重複を作らずにインポートを再実行できます。

この記事ではウィザードの手順を説明します。フィールドごとに何がコピーされるかについては、KB10418. インポーターがコピーする内容と返信スレッドの再構築方法 を参照してください。

始める前に

- ページに Discussions 掲示板が既に存在していること - KB10392. 最初のボードの作成: モード、カテゴリ、承認 を参照してください。インポーターは常に、編集中の Web パーツで選択されている掲示板に書き込みます。
- 掲示板のサイトに対する **リストの管理** (Manage Lists) アクセス許可を持っていること (サイト所有者と、編集アクセス許可レベルを持つメンバーが該当します)。また、ページを編集できること。**クラシック掲示板をインポート** ボタンはそのようなユーザーにのみ、ページが編集モードのときにのみ表示されます。
- クラシック掲示板に対して少なくとも **閲覧** アクセス許可を持っていること。インポーターはクラシック リストを読み取るだけで、リスト内の何も変更も削除もしません。
- クラシック掲示板が **テナント** にあること。まだ SharePoint Server にある掲示板は、先に SharePoint Online へ移動する必要があります。
- 元の作成者と日付を保持するには、リスト アイテムのシステム フィールドを書き込めるアカウント、実際にはターゲット サイトに対する **フル コントロール** を持つサイト所有者を使用します。権限が低くてもインポート自体は動作しますが、アイテムの作成者はあなたになり、日付はインポート時刻になります。

メモ

Discussions は **Microsoft Graph** のアクセス許可を要求せず、インポートに管理者の同意は必要ありません。要求は SharePoint **REST API** を使用し、作成者と日付の復元には CSOM を使用します。いずれもサインインしているユーザーとして実行されるため、SharePoint はソース リストとターゲット リストに対してあなたのアクセス許可を適用します - KB10413. Discussions の API アクセス許可と管理者の同意 を参照してください。

手順 1. ウィザードを開く

1 Discussions Web パーツのあるページを開き、**編集** をクリックしてページを編集モードに切り替えます。
2 Web パーツのコマンド バーで、**新しいトピック** と **モデレーション** の隣にある **クラシック掲示板をインポート** をクリックします。
3 トピック一覧の代わりにウィザード **クラシックディスカッション掲示板をインポート** が開きます。冒頭の説明にターゲット掲示板の名前が示されます: *クラシックディスカッション掲示板リストからトピック、返信、ベストアンサー、いいね、添付ファイルを掲示板「...」にコピーします。既にインポートされたトピックはスキップされるため、インポートを再実行できます。*



編集モードの クラシック掲示板をインポート ボタン

手順 2. サイトとクラシック掲示板を選ぶ

ウィザードは開くと **現在のサイト** でクラシックのディスカッション掲示板を探し、**クラシック掲示板** ドロップダウンに、それぞれアイテム数をかっこ付きで表示します。たとえば *Team discussions (1 284)* のように表示され、この数にはトピックと返信の両方が含まれます。バージョン 26.10.3 以降は、コミュニティ サイトの掲示板も一覧に表示されます。インポーターは、クラシックのディスカッション掲示板テンプレートまたは Discussion Board 基本タイプを持つリストを検索します。

掲示板がテナント内の別のサイトにある場合:

1 そのサイトのサーバー相対アドレス (たとえば `/sites/legacy` や `/teams/hr/archive`) を **サイト (サーバー相対 URL)** に入力します。フィールドの下のヒントに次のように示されています: *現在のサイトの場合は空のままにするか、クラシック掲示板をホストするサイトを入力してください。例: /sites/legacy*
2 **掲示板を読み込む** をクリックします (または Enter キーを押します)。ドロップダウンにそのサイトのクラシック掲示板が表示されます。
3 サイトに掲示板がない場合、ドロップダウンには *このサイトにクラシックディスカッション掲示板が見つかりません* と表示されます。

掲示板を選択して **分析** をクリックします。

手順 3. ドライ ランを確認する

分析 はクラシック リスト全体 (すべてのトピックとすべての返信) を読み取り、サイトの Discussions リストに、この掲示板から以前インポートされたアイテムがないか確認します。この時点では何も書き込まれません。結果は短い表で表示されます:

行	意味
トピック	インポーターが見つけたクラシックのディスカッション (クラシック リストのフォルダー)。
返信	それらのフォルダー内のメッセージ。
親が不明な返信 (トップレベルとしてインポート)	クラシックの *親アイテム* (Parent item) が既に存在しないアイテムを指している返信。これらはトピックへの直接の返信としてインポートされます。
添付ファイル付きの項目	添付ファイルが 1 つ以上あるトピックと返信。
既にインポートされたトピック (スキップ)	このサイトの Discussions リストに、この掲示板のレガシー ID で既に存在するトピック。再作成されません。最終処理でカウンターとベストアンサーへの

行	意味
	参照が更新されます。

3 行目が 0 より大きい場合、ウィザードには警告 *一部の返信が親を失いました (フラット化された掲示板)。それらはトピックのトップレベル返信としてインポートされます。* も表示されます。これは移行ツールで環境間を移動した掲示板によく見られます。



ドライ ランの概要とインポート オプション

手順 4. オプションを選ぶ

既定でどちらもオンになっている 2 つのチェック ボックスで、元のメタデータをどこまで引き継ぐかを決めます:

- **元の作成者と日付を保持** - 各トピックまたは返信を作成した後、インポーターは元の *登録者*、*更新者*、*登録日時*、*更新日時* の値を新しいアイテムに書き込みます。SharePoint はこれをシステム フィールドを設定できるアカウントにのみ許可します。拒否された場合、アイテムの作成者はあなたのまま、日付はインポート時刻のままとなり、レポートに警告が追加されます。インポートしたすべてのコンテンツをあえてインポート時刻にしたい場合は、このチェックを外します。
- **添付ファイルをコピー** - クラシックのトピックと返信に添付されたファイルがソース リストからダウンロードされ、新しいアイテムに添付されます。テキストだけをインポートするには、このチェックを外します。

プランに 1 つ以上のトピックがあれば **インポート** が使用可能になります。**キャンセル** はソースの手順に戻ります。

手順 5. インポートを実行する

インポート をクリックします。進行状況バーに 3 つのフェーズが、それぞれ *完了数 / 合計* のカウンター付きで表示されます:

1 **トピックをインポート中** - カウンターの隣に現在のトピックのタイトルが表示されます。以前にインポート済みのトピックはここでスキップされます。
2 **返信をインポート中** - 親が子より先に存在するよう、返信は古いものから順に作成されます。階層はクラシックの *親アイテム* 参照から復元されます。
3 **カウンターと回答を更新中** - 返信数、最終アクティビティ、いいね数、ベスト アンサー、*Answered* 状態がトピックに書き込まれます。

フェーズのラベルが **完了** になるまでブラウザーのタブを開いたままにしてください。インポーターはブラウザー内で動作しており、タブを閉じると停止します。その間 **トピックに戻る** は無効になります。実行が中断された場合は、ウィザードをもう一度開いて再実行してください。それまでに作成されたものはレガシー ID で認識され、スキップされます。

再実行では既存のアイテムがスキップされ、不足している添付ファイルのコピーや作成者と日付の復元は再試行されません。中断後は警告、添付ファイル、返信の階層を確認してください。

警告

インポートされたトピックと返信は、新しい投稿の承認を必要とする掲示板であっても、承認状態 *Approved* で作成されます。アイテムが作成された時点で、掲示板のすべての閲覧者に表示されます。クラシック掲示板に公開したくないコンテンツが含まれていた場合は、インポート前にクラシック リスト上で整理するか、インポート後に **モデレーション** キューでトピックを却下してください。

手順 6. レポートを読む

インポートが完了すると、緑色のメッセージに結果の要約が表示されます: *212 件のトピック、1 072 件の返信、38 件の添付ファイルをインポートしました。* この数には今回の実行で作成されたものだけが含まれ、スキップされたトピックは含まれません。

正確にコピーできなかったものがある場合、展開可能な *N 件の警告* セクション

に、アイテムごとに 1 行ずつ一覧表示されます:

- *トピック タイトル:* エラー テキスト - そのアイテムのシステム フィールドを復元できませんでした。
- *作成者と日付を復元できませんでした* - システム フィールドを完全には復元できませんでした。
- *返信をスキップ: トピックがインポートされませんでした: 418* - クラシック ID 418 の返信に、インポート済みのトピックがありません。
- *親返信のインポートに失敗しました。返信はトップレベルに配置されました: 419* - 返信 419 の親の返信を作成できなかったため、この返信は親の下ではなくトピックの最上位にインポートされました。
- *file.pdf:* エラー テキスト - 添付ファイルをコピーできませんでした。
- *トピック タイトル:* エラー テキスト - トピックまたは返信そのものを作成できませんでした。

警告が出てもインポートは停止せず、残りのアイテムは処理されます。各警告とその一般的な原因は KB10421. クラシック掲示板インポートのトラブルシューティング で説明しています。**閉じる** をクリックしてトピック一覧に戻り、ページを発行します。



警告付きのインポート レポート

インポート後

- いくつかのトピックを開き、クラシック掲示板と比較します: 返信ツリー、ベスト アンサー、添付ファイル、作成者と日付。
- インポートされたトピックにはカテゴリがありません。モデレーターがトピックを編集してカテゴリを割り当てられます - KB10423. カテゴリによるトピックの整理 を参照してください。
- クラシック　リストはそのまま残ります。インポートを確認する間は、読み取り専用のアーカイブとして保持してください。インライン画像はコピーされず、元のアドレスを保持するため、参照先のソース　ファイルを引き続き利用できるよ

うにしてください。
- しばらくの間クラシック掲示板への投稿が続く場合は、後でウィザードをもう一度実行してください。新しいトピックと新しい返信が取り込まれ、既存のアイテムはスキップされ、カウンターが再計算されます。

ヒント

1 つのサイトに複数のクラシック掲示板をインポートできます。クラシック掲示板ごとに 1 つの Discussions 掲示板へ、または複数を同じ掲示板へインポートできます。

用語

Microsoft Graph

Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

REST API

REST API (Representational State Transfer Application Programming Interface) は、ソフトウェア アプリケーションがインターネット経由で通信するための標準化された方法です。クライアントは、GET、POST、PUT、DELETE などの標準的な HTTP メソッドを使用して、サーバー上のデータを要求したり操作したりできます。REST API は、スケーラブルで柔軟性が高く、さまざまなクライアント アプリケーションからアクセスできる Web サービスの構築に広く使用されています。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。